

II 調査結果の詳細（アンケート調査からみた経営動向）

* 数値については、小数点第2位を四捨五入して表記しているため、DIを算出すると±0.1ポイントの範囲で差異が生じることがある。

1 経営者の景況感と来期の見通しについて

(1) 現在の景況感

自社業界の景気について「好況である」とみる企業は4.8%、「不況である」とみる企業は47.3%で、景況感DI（「好況である」－「不況である」企業の割合）は▲42.5となった。前期（▲44.7）から2.2ポイント増加し、3期ぶりに改善した。

〈業種別〉

製造業

「好況である」とみる企業は3.8%、「不況である」とみる企業は52.2%で、景況感DIは▲48.4となった。前期（▲49.8）から1.5ポイント増加し、3期ぶりに改善した。

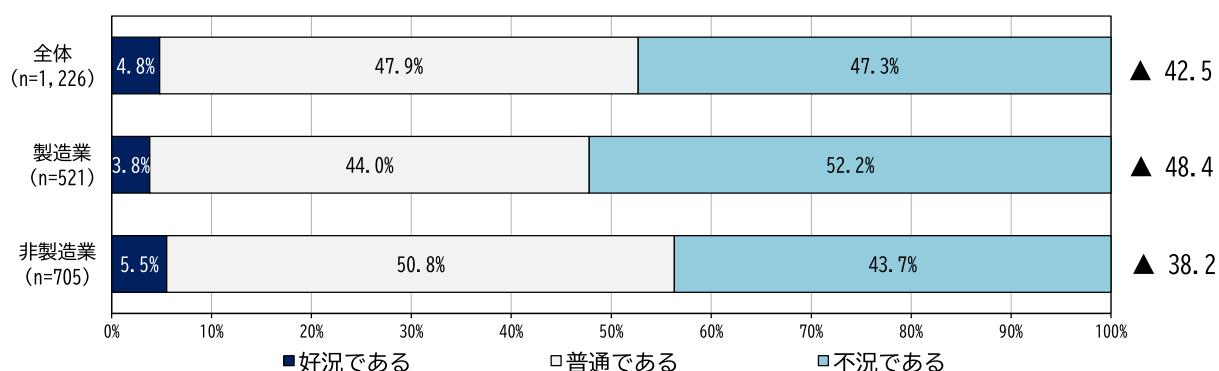
業種別にDI値をみると、12業種中、「印刷業」「プラスチック製品」等の7業種が改善し、「輸送用機械器具」「鉄鋼業・非鉄金属」等の4業種が悪化し、「家具・装備品」は横ばいであった。特に、「印刷業」は前期比で17.9ポイント増加し、前年同期比でも12.8ポイント増加した。

非製造業

「好況である」とみる企業は5.5%、「不況である」とみる企業は43.7%で、景況感DIは▲38.2となった。前期（▲40.7）から2.6ポイント増加し、3期ぶりに改善した。

業種別にDI値をみると、7業種中、「建設業」「卸売・小売業」等の3業種が改善し、「運輸業」「情報サービス業」等の4業種は悪化した。特に、「建設業」は前期比で11.8ポイント増加し、前年同期比でも6.5ポイント増加した。

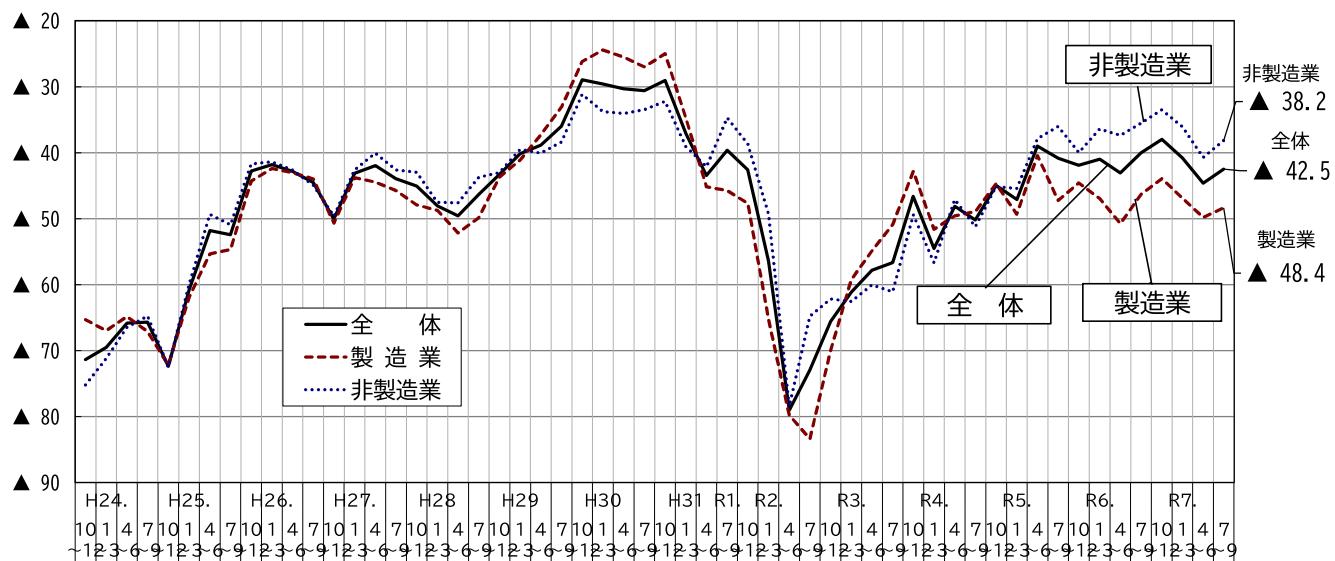
〔業種別の景況感DI〕



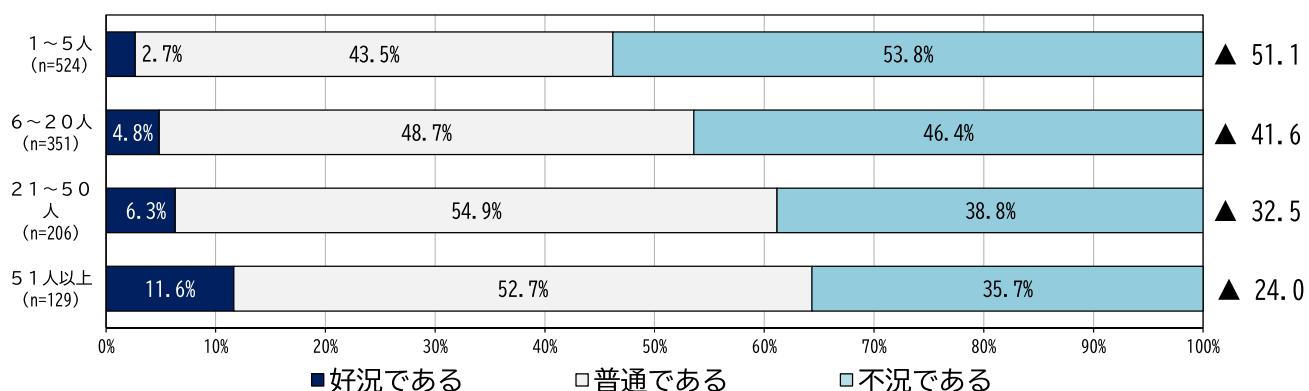
〔景況感DIの推移〕

	当期 DI (R7.7-9)	前期比 (R7.4-6)	前年同期比 (R6.7-9)	来期見通し DI (R7.10-12 の見通し)	前期比[前回調査] (R7.7-9 の見通し)
全 体	▲42.5	+2.2	▲2.5	▲18.6	+6.1
製 造 業	▲48.4	+1.5	▲2.0	▲19.5	+7.8
非製造業	▲38.2	+2.6	▲2.6	▲17.8	+4.9

[景況感D Iの推移]



[従業員規模別の景況感]



(2) 来期（令和7年10月～12月期）の見通し

先行きについては、「良い方向に向かう」とみる企業は6.9%（前期比+1.4%）、
「悪い方向に向かう」とみる企業は25.4%（前期比▲4.8%）だった。
先行きD Iは▲18.6（前期比+6.1）と、2期ぶりに改善した。

〈業種別〉

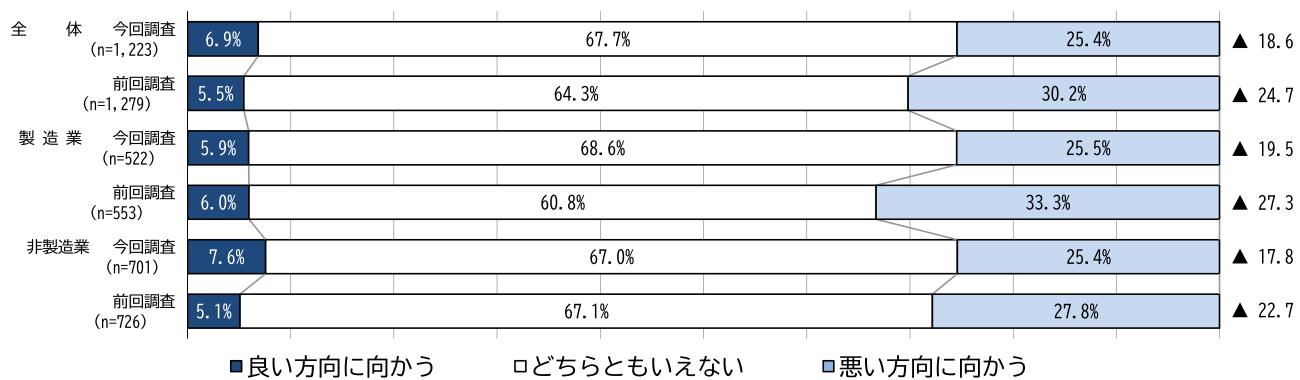
製造業

先行きD Iは▲19.5（前期比+7.8）と、4期ぶりに改善した。

非製造業

先行きD Iは▲17.8（前期比+4.9）と、2期ぶりに改善した。

〔来期の景況感D I〕



〔景況感D I の推移（詳細）〕

景況感D I の推移

業種	R6. 7～9月期	R6. 10～12月期	R7. 1～3月期	R7. 4～6月期	R7. 7～9月期 (当期)	増減		R7. 10～12月期 (見通し)
						前期比	前年 同期比	
全 体	▲ 40.0	▲ 38.0	▲ 40.8	▲ 44.7	▲ 42.5	2.2	▲ 2.5	▲ 18.6
製 造 業	▲ 46.3	▲ 43.9	▲ 46.9	▲ 49.8	▲ 48.4	1.5	▲ 2.0	▲ 19.5
食料品製造	▲ 37.5	▲ 20.5	▲ 45.2	▲ 34.1	▲ 38.5	▲ 4.4	▲ 1.0	▲ 12.8
繊維工業	▲ 66.7	▲ 51.9	▲ 54.5	▲ 57.6	▲ 65.5	▲ 7.9	1.1	▲ 34.5
家具・装備品	▲ 42.9	▲ 35.7	▲ 45.2	▲ 46.7	▲ 46.7	0.0	▲ 3.8	▲ 16.7
パルプ・紙・紙加工品	▲ 64.4	▲ 51.0	▲ 62.0	▲ 62.5	▲ 55.1	7.4	9.3	▲ 27.1
印刷業	▲ 64.1	▲ 46.3	▲ 68.9	▲ 69.2	▲ 51.3	17.9	12.8	▲ 33.3
化学工業	▲ 34.0	▲ 31.1	▲ 11.1	▲ 33.3	▲ 31.6	1.8	2.5	▲ 5.4
プラスチック製品	▲ 41.8	▲ 45.5	▲ 39.6	▲ 59.5	▲ 50.0	9.5	▲ 8.2	▲ 41.7
鉄鋼業・非鉄金属	▲ 60.0	▲ 68.4	▲ 60.8	▲ 46.3	▲ 55.6	▲ 9.3	4.4	▲ 20.8
金属製品	▲ 54.8	▲ 48.6	▲ 48.5	▲ 49.3	▲ 43.3	6.0	11.5	▲ 11.7
電気機械器具	▲ 31.4	▲ 50.0	▲ 39.1	▲ 48.1	▲ 43.6	4.5	▲ 12.3	0.0
輸送用機械器具	▲ 33.3	▲ 18.6	▲ 31.8	▲ 39.6	▲ 52.4	▲ 12.8	▲ 19.0	▲ 21.4
一般機械器具	▲ 35.1	▲ 54.2	▲ 46.4	▲ 53.8	▲ 50.8	3.0	▲ 15.8	▲ 22.0
非 製 造 業	▲ 35.5	▲ 33.5	▲ 36.1	▲ 40.7	▲ 38.2	2.6	▲ 2.6	▲ 17.8
建 設 業	▲ 34.2	▲ 27.3	▲ 22.9	▲ 39.5	▲ 27.7	11.8	6.5	▲ 6.4
総合工事業	▲ 34.5	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 42.9	▲ 29.5	13.3	5.0	▲ 2.3
職別工事業	▲ 44.2	▲ 35.4	▲ 42.6	▲ 57.7	▲ 36.0	21.7	8.2	▲ 14.0
設備工事業	▲ 22.9	▲ 10.6	▲ 4.3	▲ 15.2	▲ 17.0	▲ 1.8	5.9	▲ 2.2
卸 売・小売業	▲ 43.7	▲ 44.5	▲ 51.4	▲ 52.6	▲ 48.6	4.0	▲ 4.9	▲ 27.0
(卸売業)	▲ 34.4	▲ 39.7	▲ 43.0	▲ 47.1	▲ 43.4	3.7	▲ 9.0	▲ 17.7
繊維・衣服等	▲ 42.1	▲ 60.0	▲ 53.3	▲ 50.0	▲ 43.8	6.3	▲ 1.6	▲ 50.0
飲食料品	▲ 29.0	▲ 32.3	▲ 34.6	▲ 34.8	▲ 45.5	▲ 10.7	▲ 16.4	▲ 9.1
建築材料、鉱物・金属材料等	▲ 43.3	▲ 44.0	▲ 48.3	▲ 50.0	▲ 42.9	7.1	0.5	▲ 14.3
機械器具	▲ 18.5	▲ 18.2	▲ 26.9	▲ 50.0	▲ 23.8	26.2	▲ 5.3	▲ 4.8
その他	▲ 41.7	▲ 47.8	▲ 61.1	▲ 50.0	▲ 57.7	▲ 7.7	▲ 16.0	▲ 19.2
(小売業)	▲ 52.6	▲ 48.9	▲ 58.4	▲ 57.5	▲ 53.0	4.5	▲ 0.4	▲ 35.1
織物・衣服・身の回り品	▲ 69.2	▲ 55.3	▲ 75.7	▲ 75.0	▲ 72.2	2.8	▲ 3.0	▲ 37.1
飲食料品	▲ 50.0	▲ 55.6	▲ 60.6	▲ 50.0	▲ 54.5	▲ 4.5	▲ 4.5	▲ 46.9
機械器具	▲ 41.9	▲ 35.7	▲ 44.8	▲ 45.2	▲ 34.8	10.4	7.2	▲ 26.1
その他	▲ 46.2	▲ 45.5	▲ 50.0	▲ 59.0	▲ 45.2	13.7	0.9	▲ 29.3
飲 食 店	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 46.5	▲ 42.5	▲ 42.9	▲ 0.4	▲ 14.3	▲ 14.3
情 報 サ ー ビ ス 業	▲ 14.5	▲ 15.3	▲ 8.3	▲ 16.0	▲ 20.4	▲ 4.4	▲ 5.9	▲ 16.3
運 輸 業	▲ 43.1	▲ 29.5	▲ 42.2	▲ 30.4	▲ 35.4	▲ 5.0	7.7	▲ 8.3
不 動 産 業	▲ 37.7	▲ 20.5	▲ 26.8	▲ 39.5	▲ 38.2	1.3	▲ 0.5	▲ 17.6
サ ー ビ ス 業	▲ 29.9	▲ 29.8	▲ 29.8	▲ 33.1	▲ 36.1	▲ 3.0	▲ 6.2	▲ 18.1
専門サービス業	▲ 23.9	▲ 19.5	▲ 16.7	▲ 23.8	▲ 20.0	3.8	3.9	▲ 15.6
洗濯・理美容・浴場業	▲ 35.9	▲ 45.2	▲ 51.3	▲ 47.2	▲ 54.8	▲ 7.6	▲ 18.9	▲ 35.5
その他生活関連・娯楽業	▲ 34.1	▲ 30.6	▲ 35.0	▲ 38.9	▲ 45.2	▲ 6.3	▲ 11.0	3.2
その他の事業サービス業	▲ 26.3	▲ 27.3	▲ 13.9	▲ 23.5	▲ 32.4	▲ 8.9	▲ 6.1	▲ 24.3

単位：D I

2 売上げについて

(1) 当期（令和7年7月～9月期）の状況

前期と比べ、売上げが「増加した」と答えた企業は15.8%、「減少した」と答えた企業は36.0%で、売上げDI（「増加した」－「減少した」と答えた企業の割合）は▲20.3となつた。前期（▲19.5）から0.8ポイント減少し、2期ぶりに悪化した。

〈業種別〉

製造業

売上げが「増加した」と答えた企業は16.9%、「減少した」と答えた企業は38.7%で、売上げDIは▲21.8となつた。前期（▲19.9）から1.9ポイント減少し、2期ぶりに悪化した。

業種別にDI値をみると、12業種中、「家具・装備品」「印刷業」「プラスチック製品」「鉄鋼業・非鉄金属」「電気機械器具」「輸送用機械器具」「一般機械器具」の7業種が前期から改善し、それ以外の5業種は前期から悪化した。特に、「化学工業」は前期比で41.5ポイント減少し、前年同期比でも3.2ポイント減少した。

非製造業

売上げが「増加した」と答えた企業は14.9%、「減少した」と答えた企業は34.0%で、売上げDIは▲19.1となつた。前期（▲19.2）から0.1ポイント増加し、2期連続改善した。

業種別にDI値をみると、7業種中、「卸売・小売業」「飲食店」「運輸業」「サービス業」の4業種が前期から悪化し、それ以外の3業種は前期から改善した。特に、「情報サービス業」は前期比で20.0ポイント増加し、前年同期比でも11.3ポイント増加した。

[売上げ実績]

	増加した	変わらない	減少した	DI	前期比	前年同期比
全 体	15. 8%	48. 2%	36. 0%	▲20. 3	▲0. 8	▲0. 7
製 造 業	16. 9%	44. 3%	38. 7%	▲21. 8	▲1. 9	+0. 3
非製造業	14. 9%	51. 1%	34. 0%	▲19. 1	+0. 1	▲1. 3

(2) 来期（令和7年10月～12月期）の見通し

先行きについて、売上げが「増加する見通し」と答えた企業は19.2%、「減少する見通し」と答えた企業は26.9%であった。

当期の売上げDI（▲20.3）と比べて、来期DIは▲7.6（当期比+12.6）と改善する見通しである。

〈業種別〉

製造業

来期の売上DIは▲8.2（当期比+13.6）と改善する見通しである。

非製造業

来期の売上げDIは▲7.2（当期比+11.9）と改善する見通しである。

(注)全業種の集計結果とDIの推移は付表(P61)を御覧ください。

3 資金繰りについて

(1) 当期（令和7年7～9月期）の状況

前期と比べ、資金繰りが「良くなった」と答えた企業は7.1%、「悪くなった」と答えた企業は26.6%で、資金繰りDI（「良くなった」－「悪くなった」と答えた企業の割合）は▲19.5となつた。前期（▲18.4）から1.1ポイント減少し、2期ぶりに悪化した。

〈業種別〉

製造業

資金繰りが「良くなった」と答えた企業は6.9%、「悪くなった」と答えた企業は30.2%で、資金繰りDIは▲23.3となつた。前期（▲19.2）から4.1ポイント減少し、2期ぶりに悪化した。

業種別にDI値をみると、12業種中、「家具・装備品」「鉄鋼業・非鉄金属」「金属製品」「一般機械器具」の4業種が前期から改善し、それ以外の8業種は前期から悪化した。特に、「食料品製造」は前期比で20.8ポイント減少し、前年同期比でも0.2ポイント減少した。

非製造業

資金繰りが「良くなった」と答えた企業は7.3%、「悪くなった」と答えた企業は23.8%で、資金繰りDIは▲16.5となつた。前期（▲17.8）から1.3ポイント増加し、5期ぶりに改善した。

業種別にDI値をみると、7業種中、「飲食店」「情報サービス業」「不動産業」「サービス業」の4業種が前期から悪化し、それ以外の3業種は前期から改善した。特に、「運輸業」は前期比で13.4ポイント増加し、前年同期比でも9.9ポイント増加した。

〔資金繰り実績〕

	良くなった	変わらない	悪くなった	DI	前期比	前年同期比
全 体	7. 1%	66. 3%	26. 6%	▲19. 5	▲1. 1	+0. 4
製 造 業	6. 9%	62. 9%	30. 2%	▲23. 3	▲4. 1	+0. 8
非製造業	7. 3%	68. 9%	23. 8%	▲16. 5	+1. 3	+0. 3

(2) 来期（令和7年10～12月期）の見通し

先行きについて、資金繰りが「良くなる見通し」と答えた企業は8.6%、「悪くなる見通し」と答えた企業は23.5%であった。

当期の資金繰りDI（▲19.5）と比べて、来期DIは▲14.9（当期比+4.6）と改善する見通しである。

〈業種別〉

製造業

来期の資金繰りDIは▲13.8（当期比+9.5）と改善する見通しである。

非製造業

来期の資金繰りDIは▲15.8（当期比+0.8）と改善する見通しである。

（注）全業種の集計結果とDIの推移は付表（P62）を御覧ください。

4 採算について

(1) 当期（令和7年7月～9月期）の状況

前期と比べ、採算が「良くなった」と答えた企業は9.8%、「悪くなった」と答えた企業は34.0%で、採算DI（「良くなった」－「悪くなった」と答えた企業の割合）は▲24.2となつた。前期（▲25.6）から1.4ポイント増加し、2期連続改善した。

〈業種別〉

製造業

採算が「良くなった」と答えた企業は10.2%、「悪くなった」と答えた企業は34.1%で、採算DIは▲23.9となつた。前期（▲24.7）から0.9ポイント増加し、2期連続改善した。

業種別にDI値をみると、12業種中、「食料品製造」「家具・装備品」「パルプ・紙・紙加工品」「化学工業」「鉄鋼業・非鉄金属」「輸送用機械器具」の6業種が前期から悪化し、それ以外の6業種は前期から改善した。特に、「印刷業」は前期比で19.9ポイント増加し、前年同期比でも8.4ポイント増加した。

非製造業

採算が「良くなった」と答えた企業は9.4%、「悪くなった」と答えた企業は33.9%で、採算DIは▲24.4となつた。前期（▲26.2）から1.8ポイント増加し、2期連続改善した。

業種別にDI値をみると、7業種中、「卸売・小売業」「飲食店」「運輸業」の3業種が前期から悪化し、それ以外の4業種が改善した。特に、「建設業」は前期比15.0ポイント増加し、前年同期比でも7.0ポイント増加した。

〔採算実績〕

	良くなった	変わらない	悪くなった	DI	前期比	前年同期比
全 体	9. 8%	56. 3%	34. 0%	▲24. 2	+1. 4	+1. 3
製 造 業	10. 2%	55. 7%	34. 1%	▲23. 9	+0. 9	+4. 1
非製造業	9. 4%	56. 7%	33. 9%	▲24. 4	+1. 8	▲0. 7

(2) 来期（令和7年10月～12月期）の見通し

先行きについて、採算が「良くなる見通し」と答えた企業は10.7%、「悪くなる見通し」と答えた企業は28.2%であった。

当期の採算DI（▲24.2）と比べて、来期DIは▲17.5（当期比+6.7）と改善する見通しである。

〈業種別〉

製造業

来期の採算DIは▲16.2（当期比+7.7）と改善する見通しである。

非製造業

来期の採算DIは▲18.5（当期比+5.9）と改善する見通しである。

(注) 全業種の集計結果とDIの推移は付表(P63)を御覧ください。

5 設備投資について

(1) 当期（令和7年7～9月期）の状況

当期に「設備投資を実施した」と答えた企業は24.6%で、前期（23.7%）から0.9ポイント増加し、2期連続増加した。

内容をみると、「生産・販売・設備（建設機械を含む）」が40.4%で最も高く、「車輛・運搬具」が37.7%、「情報化機器」が26.9%と続いている。

目的では、「更新、維持・補修」が75.5%で最も高く、「生産・販売能力の拡大」が29.4%、「合理化・省力化」が23.0%と続いている。

〈業種別〉

製造業

「設備投資を実施した」と答えた企業は28.1%で、前期（27.8%）から0.3ポイント増加し、2期連続増加した。また、前年同期（27.3%）から0.8ポイント増加した。

業種別でみると、12業種中、「家具・装備品」「パルプ・紙・紙加工品」「化学工業」「プラスチック製品」「金属製品」「電気機械器具」「一般機械器具」の7業種が前期から減少し、それ以外の5業種は増加した。

設備投資の内容は、「生産・販売・設備（建設機械を含む）」が65.3%で最も高く、次いで、「情報化機器」が21.8%、「車輛・運搬具」が20.4%と続いている。

設備投資の目的は、「更新、維持・補修」が77.1%で最も高く、次いで「生産・販売能力の拡大」が31.3%、「合理化・省力化」が21.5%と続いている。

非製造業

「設備投資を実施した」と答えた企業は21.9%で、前期（20.5%）から1.4ポイント増加し、2期連続増加した。また、前年同期（20.7%）から1.2ポイント増加した。

業種別でみると、7業種中、「建設業」「飲食店」「運輸業」「不動産業」の4業種が前期から減少し、それ以外の3業種は増加した。

設備投資の内容は、「車輛・運搬具」が54.7%で最も高く、次いで、「情報化機器」が32.0%、「建物(工場・店舗等を含む)」が17.3%と続いている。

設備投資の目的は、「更新、維持・補修」が73.9%で最も高く、次いで「生産・販売能力の拡大」が27.5%、「合理化・省力化」が24.6%と続いている。

〔設備投資実施率〕

	実施した	実施しなかった	前期比	前年同期比
全 体	24.6%	75.4%	+0.9	+1.2
製 造 業	28.1%	71.9%	+0.3	+0.8
非製造業	21.9%	78.1%	+1.4	+1.2

(2) 来期（令和7年10～12月期）の見通し

来期に「設備投資を実施する予定」と答えた企業は19.9%で、当期（24.6%）から4.7ポイント減少する見通しである。

<業種別>

製造業

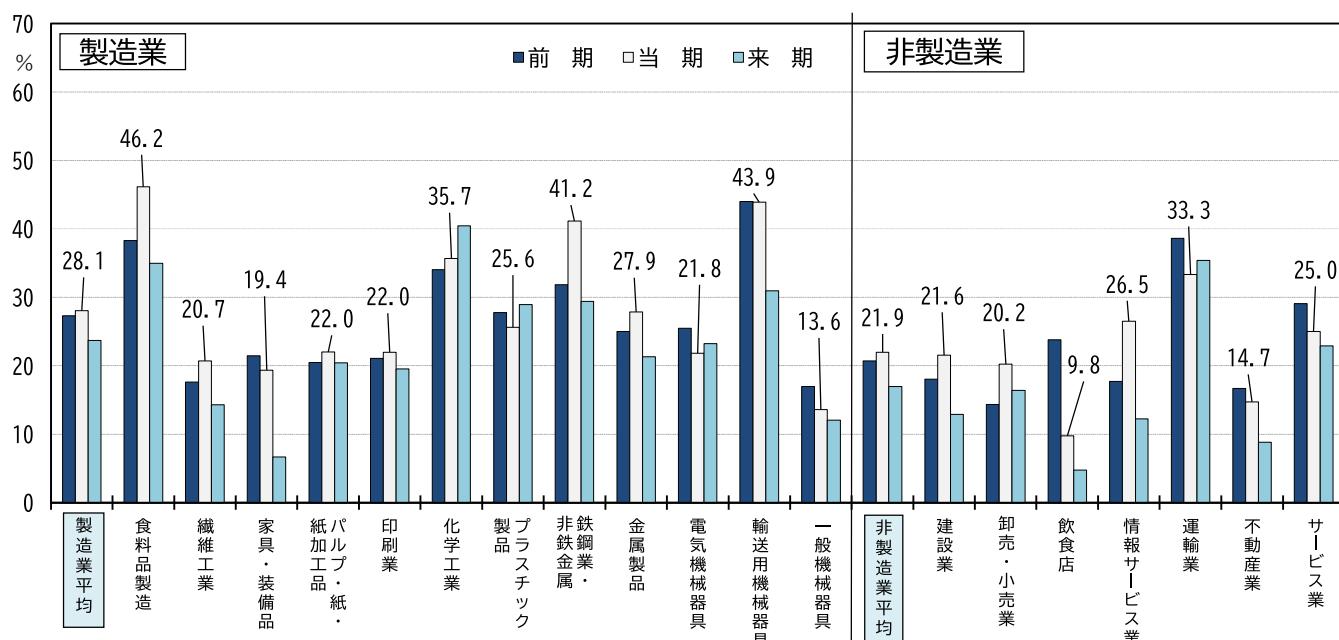
「設備投資を予定している」と答えた企業は23.7%となっており、減少する見通しである。

非製造業

「設備投資を予定している」と答えた企業は17.0%となっており、減少する見通しである。

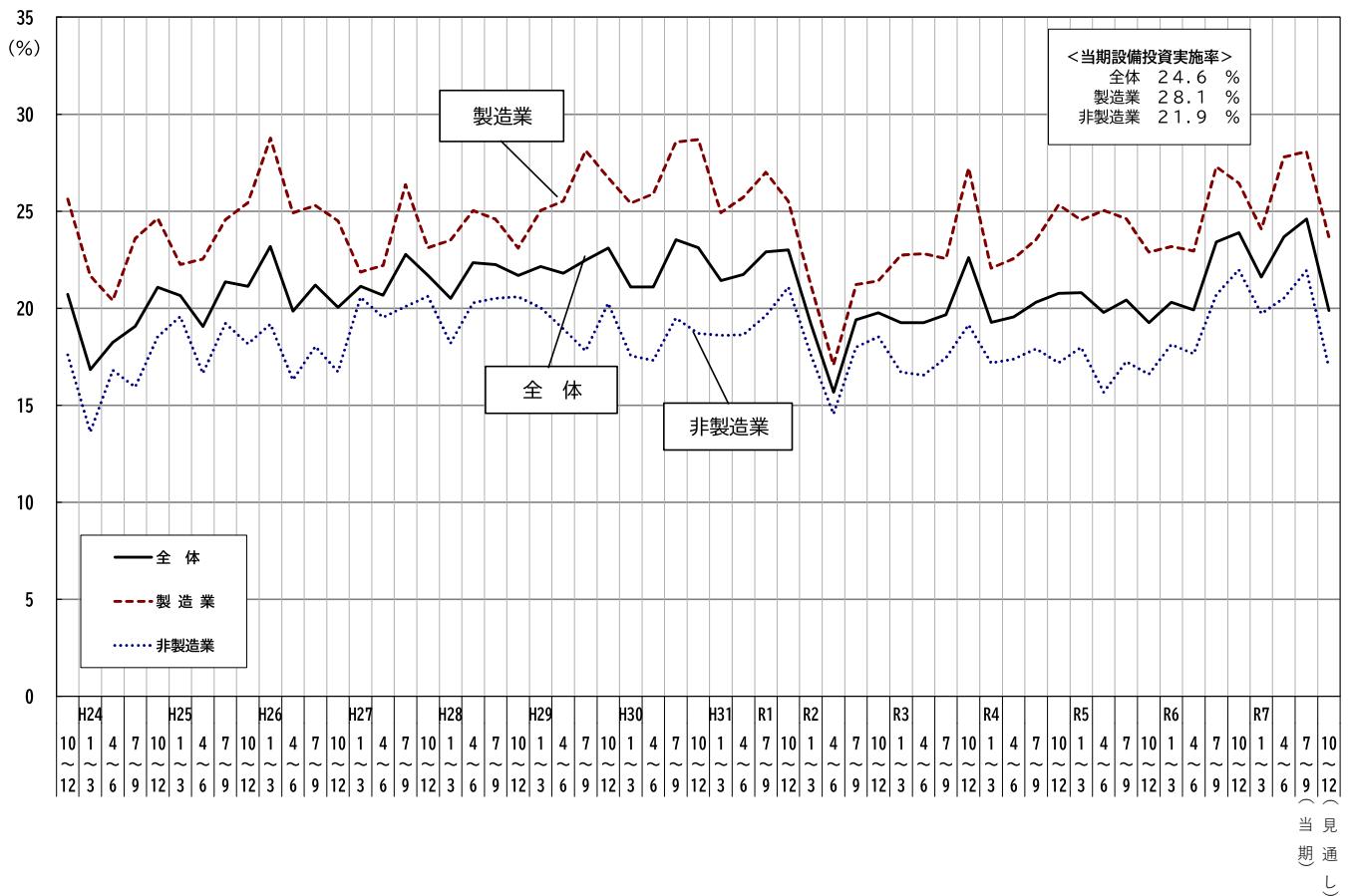
(注) 全業種の集計結果とD I の推移は付表(P 64)を御覧ください。

〔業種別・設備投資実施率〕

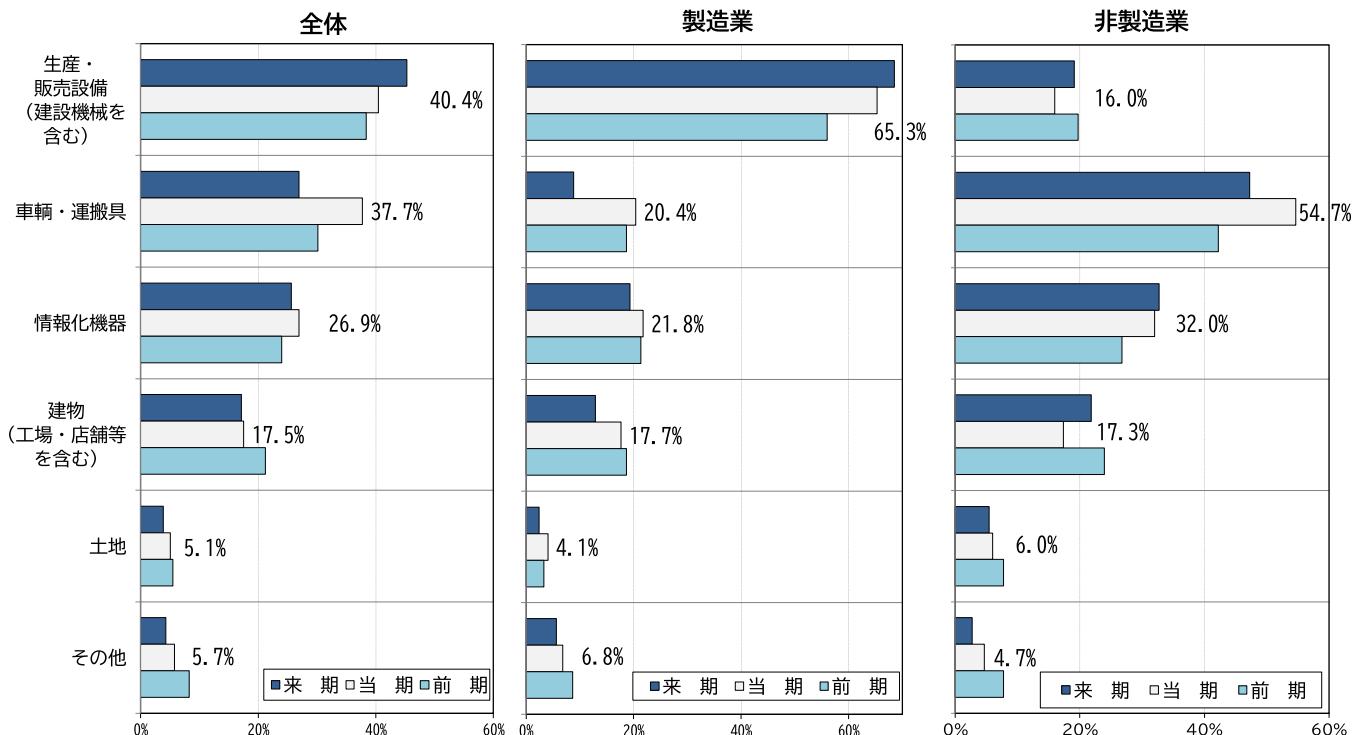


*数値は当期の実施率

〔設備投資実施率の推移〕

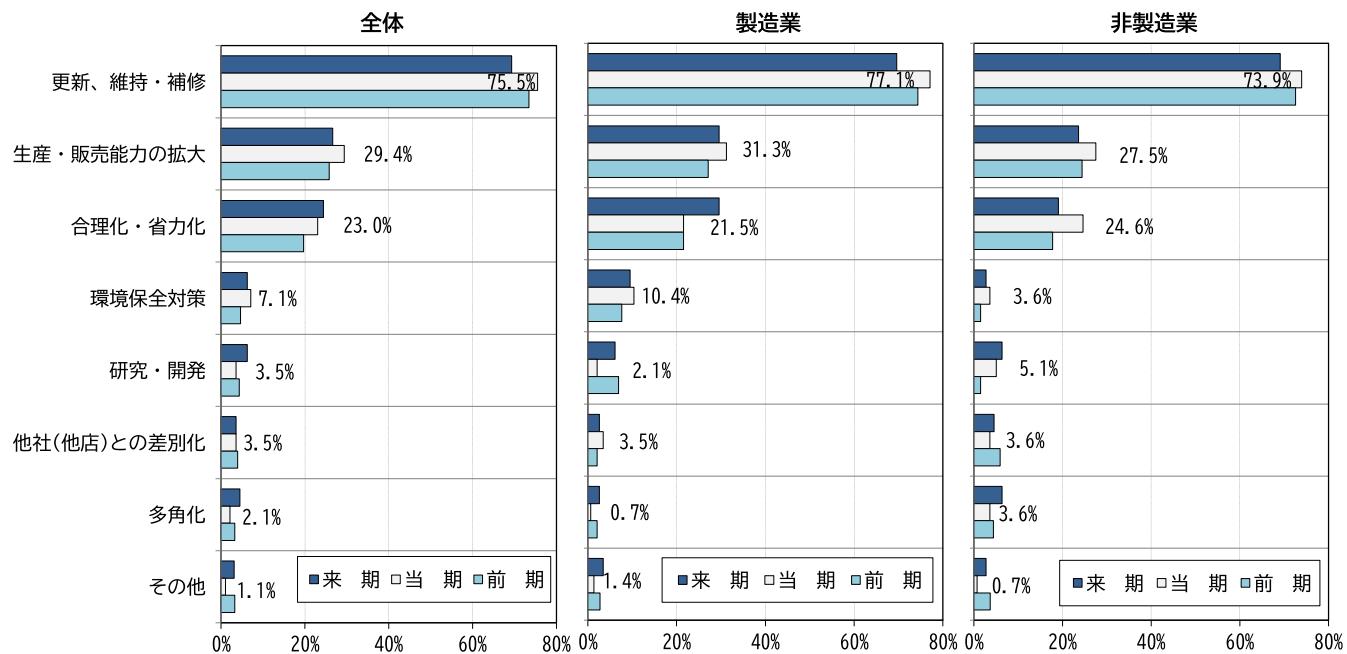


〔設備投資の内容【複数回答】〕



*数値は当期の実施率

〔設備投資の目的【複数回答】〕



* 数値は当期の実施率